

会 議 要 旨 書

会議名	令和5年度第5回三鷹市文化財保護審議会定例会
日時	令和6年3月4日(月)午後6時30分～8時30分
場所	三鷹市教育センター3階 第三中研修室
出席委員 (8人)	中野達哉、濱野周泰、小林謙一、福野明子、神野善治、初田香成、 M・ウィリアム スティール、日高慎
欠席委員 (0人)	
事務局 (4人)	スポーツと文化部長 大朝摂子 スポーツと文化部調整担当部長・生涯学習 課長 齊藤真、生涯学習課主査 下原裕司、生涯学習課主事 齊藤満里奈
会 議 の 公 開・非公開	公開
傍聴人数	0人

1 開会

事務局より、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき会議の公開、会議録の作成、公開についての説明及び配付資料の確認を行った。

2 議題

(1) 1月以降の文化財事業報告について

事務局から、1月以降に実施した事業について、主要なものを報告した。

【A委員】大沢の里水車経営農家の民具連続講座を開催しているが、そのうち4回を一般公開講座として広く参加者によびかけることとした。特別講師として高橋典子氏、小坂克信氏をお呼びし、それぞれ2回ずつお話していただいた。

(2) 3月以降の文化財事業予定について

事務局から、3月以降の事業について、主要なものを報告した。

今回の考古学体験学習では、委員より補足等があればお願いしたい。

【H委員】縄文食レシピについては、当時の食を再現できるよう試作しているところである。

(3) 「三鷹まるごと博物館」事業あり方検討助言者会議での助言について

事務局から、会議の経緯と三鷹まるごと博物館理念の案文について説明した。

【B委員】本年9月からのICUと三鷹市との展示は、一般の方へわかりやすい展示を目指している。両者の連携により、着実に進められると思っている。

【C委員】考古学展示会のチラシに三鷹まるごと博物館のロゴが入っているが、ICUとの展示も、まるごと博物館事業として進めていくということか。まるごと博物館のことを「知らない」という方がまだ多いので、これを機に広報を積極的に行ってほしい。

【事務局】ICUとの連携についても、まるごと博物館事業として進めていく。

【C委員】マチコエ文化歴史グループの人数は何人なのか。公的団体なのか。

【齊藤調整担当部長】正確な人数は把握していない。マチコエは市の第5次基本計画に市民の意見を反映するために立ち上げたもので、文化歴史グループはそのひとつである。三鷹まると博物館について、大変関心をもっていていただき評価をいただきつつ、様々な提案をいただいている。

【C委員】市民が動きやすい組織があったほうがよいと思った。自由に参加したいということで協力してもらっているということは、それはそれでよいと思う。

三鷹市はハコモノではなく、まると博物館でやっていくので、そこに参加してもらえそうな組織、団体があるとよいと感じた。

【事務局】ボランティア主体で、自由に活動しやすくなるような組織づくりを行うことが、課題の一つと考えている。

【C委員】まると博物館に、マチコエ活動を行っていた人たちは入っているのか。

【事務局】わさび活動に参加してもらっている方がいる。

【D委員】理念のところで、市民参加の部分が、通常の博物館とどこが違うか、SEEだけではなく、Doをもっと組み込めるとよいと思う。理念を作成する際に、英訳が必要であれば力になりますよ。

【E委員】生涯学習機能として、また市民参加のまちづくりとしてよい取り組みだと思う。コンテンツ公開のときに、研究結果、市の資料発掘を市民と一緒にやっていきたい。研究的な活動も進めていけたらよいと思った。

(4) 三鷹こ線人道橋の動画等公開について

【事務局】三鷹こ線人道橋に関する動画5点をYouTube（スポーツと文化部公式チャンネル）に順次公開していく予定である。三鷹まると博物館ホームページにこ線人道橋のページを作り、そこからYouTubeへ飛ぶような仕組みになっている。

また、三鷹駅南口で実施するイベントで、VRヘッドセットを使ってこ線人道橋映像を見る体験をしてもらう予定である。

(5) 元禄十三年銘牟礼橋東石造庚申供養塔について

【事務局】前回ご指摘いただいた部分を確認したうえで修正した。

「どんどん橋（旧牟礼橋）」という名称については、三鷹市史に明記されており、使われていたことには間違いはないが、由来については市史に記載はなかった。

指定については、「指定有形文化財」としたいと考えている。

【F委員】事務局からの修正内容で問題ないかと思うが、いかがか。
（全委員、同意。）

【F委員】「指定書 表」最後の一文で、民俗文化財とあるが「歴史資料」がよいだろう。また、「指定理由書」のなかの指定の理由のところで、「貴重な民俗文化財ということができ、」を削除したほうがよい。

【C委員】「指定書」にある「造立する。とされる。」は「造立したとされる。」がよいだろう。

【F委員】指定理由「できる貴重な民俗文化財ということが」を削除し、文言は指定書と指定理由書でなるべく合わせるようにすること。

その後の修正等は事務局で進めていただくということできかがか。

(全委員、同意。)

(事務局にて今後の進め方について報告。)

3 その他

(1) 下連雀無縁講に伴う鉦鼓の寄贈について

【事務局】下連雀で、ご不幸があった際に、歩きながら鉦鼓を鳴らして知らせていたという。鉦鼓と一緒に亡くなった方の氏名及び日付等を記載したノートも合わせて作成され、鉦鼓とともに保管されてきた。しかし新型コロナ以降は、葬儀を知らせることもなくなってしまったため、市へ寄贈の申し出があったという経緯である。

【F委員】聞き取り調査ができればよいと思う。

(2) 大沢の里水車経営農家水車解説員の養成について

【事務局】水車解説員が高齢化により人数が減少し、解説活動が縮小傾向にある。これまで新しい人を呼び込むために解説員養成講座を行ってきたこともあるが、なかなか新しい人を取り組むことができていない。そこで今回、民具受講者の方を対象に解説員に取り込むことができないか、働きかけを行っている。養成のための講師は水車解説員に呼びかけ、ベテランの方一名にお願いする予定である。4/18(木) 午後6時～7時 水車経営農家 現地で養成講座として開催する予定である。

委員より補足等ありましたらお願いしたい。

【A委員】来館者が少ない、学校の社会科見学も時間が短い、解説員の負担が多い、といったような声があがっている。解説員は三鷹の水車に自信を持って活動してくださっているが、手ごたえがないと感じているようなので、バックアップできたらいいなと思っている。

【G委員】解説日はいつなのか。

【事務局】現在は金土日祝が解説日である。新型コロナで一旦解説活動を休止し、再開に向けて解説員と話し合い、部分的に活動を再開している。

【A委員】民具受講者は若い世代が多く、仕事をされているため、シフトをきっちり組んで入ってもらうのは難しいと思うので、行けるときに参加するくらいで入ってもらえたらよいと思っている。

【F委員】次回定例会は令和6年5月13日(月) 午後6時半からとする。以上をもって、令和5年度第5回三鷹市文化財保護審議会定例会を終了する。